

小嶋。周り二百四十歩、高さ一十丈あり。松・茅・薺頭蒿・都波あり。

玉江湾西方の中島で、周囲四二七メートル、高さ三〇メートルとある。



9 美保関町片江浦で、長さ六七七メートルとある。今はあたり一帯が民家。



10 鳥嶋。周り八十二歩、高さ一十五丈あり。鳥の栖あり。黒嶋。紫菜・海藻生へり。衣嶋。周り二百二十歩、高さ五丈あり。中を繋ぎ、南北に船往來へり。



美保関町の菅浦にあり。長さは四九メートルとある。

鳥嶋は美保関町菅浦湾北方の鬼島のこと。周囲は四六メートル、高さ四四・五メートルとある。鳥の栖とは文字どおり、鷺などの巣があったと思われる。黒嶋は鬼島の北方三〇メートルの所に浮かぶ大黒島のことで、衣嶋は菅浦湾にある較島のことで、高さ一五メートル。島の中を掘り通し、南北に船が往來している。



美保関町片江と菅浦との間に突出した岬。二つの岩穴があると記されているが、突端から東側を南へ少し行ったところにある二つの岩穴のことだ。

鳩嶋。周り二百二十歩、高さ一十丈あり。都波・苺あり。勝間崎の北方にある蜂巣島ハトがハチスに変わったのか。



11 地図上の数字は、本文に記した太数字のあとに紹介する島や浜などの位置する範囲を示しています。

12 千酌湾。長さ一里六十歩あり。東に松林、南の方に驛家、北の方に百姓の家あり。郡家の東北一七里、一百八十歩あり。此は謂はゆる隠岐國に渡る津是なり。

13 加志嶋は笠浦湾口にある笠島のこと。周囲一〇〇メートル、高さ九メートルとある。白カスカ島とも言う。赤嶋。周り一百歩、高さ一丈六尺あり。松あり。



14 黒嶋。紫菜・海藻生へり。中を繋ぎ、南北に船往來へり。眞屋嶋。周り八十六歩、高さ五丈あり。松あり。



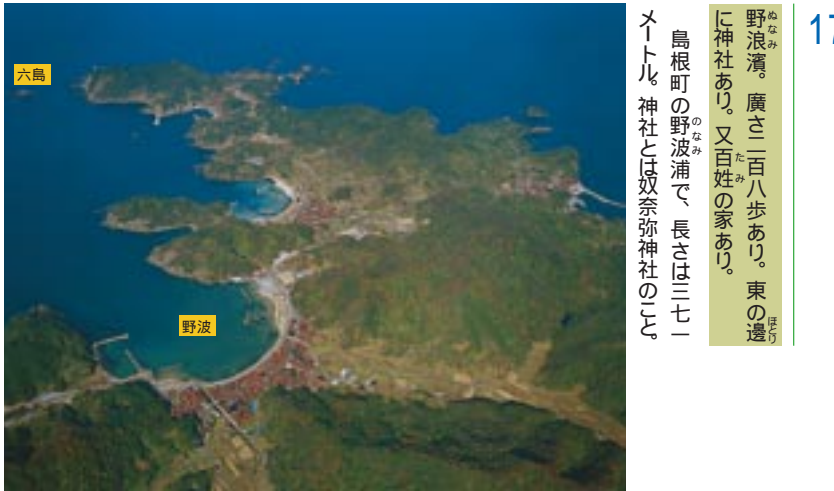
15 笠浦の北方にあるサザエ島のこと。

16 松嶋。周り八十歩、高さ八丈あり。松林あり。島根町瀬崎の北方の松嶋。周囲は一四三メートル、高さ二四メートルとある。

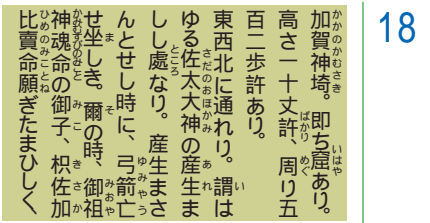
17 野浪濱。長さ二百八歩あり。東の邊に神社あり。又百姓の家あり。島根町の野波浦で、長さは三七一メートル、神社とは奴奈弥神社のこと。

18 加賀神崎。即ち屋あり。高さ一十丈許、周り五百一歩許あり。東西北に通れり。謂はゆる佐太大神の産生まじし處なり。産生まさんとせし時に、弓箭亡せし時、爾の時、御祖神魂命の御子、枳佐加比賣命願きたまひし。

19 黒嶋。紫菜・海藻生へり。笠浦北方に突出する、津和鼻の東北に浮かぶ黒嶋。龜嶋。前に同じ。(紫菜・海藻生へり。編集部注)



20 美保関町の千酌浦。長さは六四一メートル。南に驛家があり、当時はこの浜が隠岐國への渡り場であったらしい(詳しくは三三ページを参照)。



21 島根半島。所・加賀の潜戸のある岬。岩穴は高さ三〇メートル。周囲は八九四メートルばかりとある。『出雲國風土記』には岬にまつわる伝承が紹介されている。この岬を特別に神崎と呼んだのは、佐太大神の生まれた所で、黄金の弓矢で射抜いたため貫通したといふ大きな洞窟があったり、この付近を通るときは大声を出さないと神が疾風をおこして船をひっくり返すといふ神秘的な所であったからなのだろう。今は遊覧船で中を通ることができ、今でも十分神秘的だ。